

桜楓会山梨支部の皆様

2021年度総会のご報告

猛暑が続いております。またコロナ感染症は引き続き猛威をふるっておりますが、皆様にはその後もお変わりなく、お元気でお過ごしでしょうか。

さて、去る7月11日(日)に、県立図書館イベントスペースで、山梨支部総会とミニ講座を開催いたしました。総会とミニ講座を合わせて1時間という短時間での開催でしたが、総会には15名、ミニ講座には、16名の方々がご参集くださいました。

総会は、高野晴美副支部長の司会で進められました。2020年度活動報告は島口たけみ庶務、会計報告は中込恒子会計、監査報告は秋山宏子監査により行われ、出席者の拍手により承認されました。

《議事》

①新役員について

支部長：賀川 一枝 (新34児)	<新任>
副支部長：小澤 真紀子 (新34経)	<新任>
庶務：河澄 みどり (新30食)	<新任>
会計：中込 恒子 (新29経)	<再任>
会計監査：秋山 宏子 (新28食)	<再任>
島口 たけみ (新23被)	<新任>
顧問：浅川 初美 (新26社)	<新任>

大幅な役員交代となりました。コロナ禍で、支部の活動もままならない状況が続いています。支部の皆様のいっそうのご理解とご協力をお願い致します。

②桜楓会山梨支部の会則改訂について (別紙参照)

赤字部分が、今回加筆もしくは言い回しを変えた箇所です。支部役員の任期、支部活動費の金額、「敬老の日」お祝いハガキ送付対象者の年齢など、なるべく具体的で分かりやすい内容に改訂しました。

《ミニ講座》

講師は、支部長の浅川が務めました。「コロナ禍の中でのコミュニケーション」というテーマで30分程お話しさせていただきました。コミュニケーションの構成要素は、「言葉・音声・表情・態度」といわれています。「言葉」と同じくらい「表情」が重要ですが、今やマスク着用が必須となり表情が伝わりにくくなりました。表情が不十分となった所を、表情以外の要素、特に言葉で補いたいものです。例えば、『いい人』の一言だけではなく、「やさしい」「親切」「素直」など、豊かな表現を心掛けてみてはいかがでしょうか。語彙を増やすことが必要となりそうです。

以上、簡単ではございますが、総会のご報告とミニ講座の様子をお知らせいたしました。コロナ禍に加えて猛暑の毎日です。どうぞ皆様、くれぐれもご自愛くださいますよう

(一社) 日本女子大学教育文化振興桜楓会山梨支部
支部長 (2020年度) 浅川初美